

小学校 第5学年 道徳 「ケンタの役割」

授業のねらいを達成するためのICT活用法

- ・教材の中の葛藤場面で、自分がどの立場か、理由と共に発表させる。
- ・クラスの友達の見解を読み、自分の考えを深めたり広げたりする。

事例の概要

	児童・生徒	教師
①	教材を読み、主人公がどのような事で迷っているかつかむ。	リレーの練習と委員会の仕事の間でゆれる主人公の立場を説明し、理解させる。
②	主人公が二つの役割のどちらを選んだのか、理由と共にミライシード「ムーブノート」に入力し、クラスの提出ボックスに送る。	事前にムーブノートのシートを準備する。児童のタブレットにシートを送る。
③	全体共有を提出ボックス内で行う。友達が意見を書いたシートを読み、自分の考えを深めたり、広げたりする。	ムーブノートの機能を使い、リレー練習を選んだ人と委員会の仕事を選んだ人を整理する。

【事例におけるICT活用の場面】



普段考えを表出しにくい児童も、タブレットで入力して提出することで、全員の考えを見ることが出来る。
たくさんの考えに触れることで、自分の考えを深めたり広げたりすることができた。

【事例におけるICT活用のポイント】

- ① 意欲的に参加することができ、普段発表しない児童も発表することができる。誰が意見を提出しないか分かるので声かけがしやすい。（全員参加）
- ② 提出し終わった児童から、他の児童の意見を見ることが出来る。（待ち時間の活用）

【活用したソフトや機能】

・ミライシード「ムーブノート」 ・電子黒板